

災害からの復旧・復興

緊急治水対策プロジェクト

筑後川水系巨瀬川緊急治水対策プロジェクト(令和5年7月豪雨からの復旧・復興)

令和5年7月豪雨により甚大な被害が発生したことを踏まえ、国・県・市等が連携し、河道掘削、築堤、樋門・樋管整備、橋梁改築、砂防堰堤整備等の取組を集中的に実施することにより、令和5年7月豪雨に対して、家屋など流域における浸水被害の軽減を図るとともに、土砂・流木災害を軽減し、強靱な地域づくりを目指します。

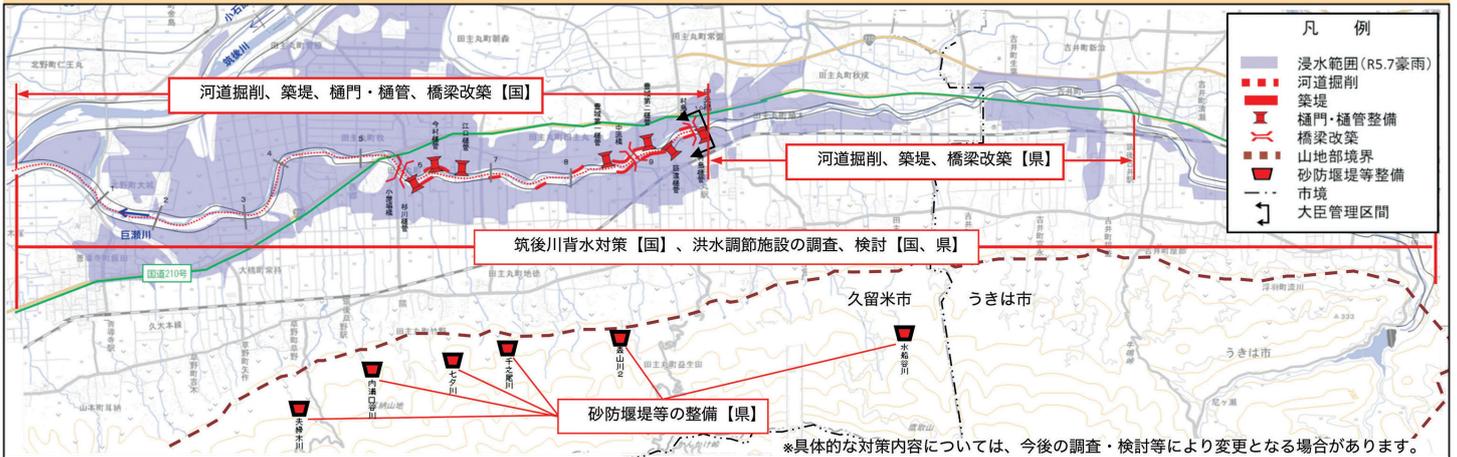
筑後川水系巨瀬川の被害状況 (R5.7.10)



筑後川水系巨瀬川の整備状況



対策位置図



球磨川水系緊急治水対策プロジェクト(令和2年7月豪雨からの復旧・復興)

令和2年7月3日から8日にかけて、梅雨前線が停滞し、線状降水帯が九州で多数発生しました。球磨川では、大雨により氾濫が発生し、多数の浸水被害が発生しました。

国、県、市町村等が連携し、球磨川の被災した箇所、河道掘削、堤防整備、輪中堤・宅地かさ上げ、遊水地等の取組を集中的に実施することにより、令和2年7月豪雨と同規模の洪水に対して、越水による氾濫防止※(人吉市の区間等)、家屋の浸水防止※(中流部)など、流域における浸水被害の軽減を図ることを目指します。

※従来から検討してきた貯留型ダム並びに再開発後の市房ダムによる洪水調節の効果を含む

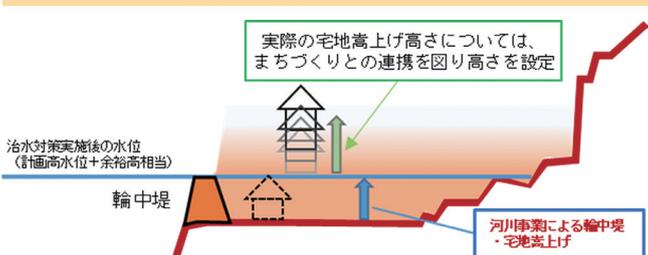
球磨川の被害状況 (R2.7)



河道掘削の施工状況(人吉市)(R7.1)



輪中堤・宅地かさ上げイメージ



引堤工事の施工状況(球磨村渡地区)(R7.2)



遊水地の施工状況(相良村柳瀬地区)(R7.2)



令和2年7月豪雨からの復旧・復興

道路事業の取組

令和2年7月豪雨により被災した八代市～人吉市間の球磨川沿いの道路については、流失した橋梁10橋を含む国道219号や熊本県道等の約100kmを対象に国の権限代行により災害復旧事業を進めています。令和5年2月に西瀬橋、令和7年3月に沖鶴橋の新橋架替が完了し、現在、残る8橋の上部工工事を進めるとともに、国道219号をはじめとする道路の復旧や、かさ上げ工事を進めています。引き続き、一日も早い復旧を目指して、全力で取り組んでまいります。



TEC-FORCEの取組

緊急災害対策派遣隊 (TEC-FORCE) は、平成20年4月に創設され、大規模自然災害が発生し自治体職員だけでは対応が困難な場合に、いち早く被災地へ出向き、被災自治体を支援しています。

令和6年能登半島地震への対応

UAV (ドローン) での被災状況調査 (石川県珠洲市)



給水機能付き散水車による給水支援 (石川県志賀町)



令和6年7月大雨への対応

国道386号三郎丸橋の被災状況調査 (大分県日田市)



令和6年台風10号への対応

市道の被災状況調査・道路啓開 (鹿児島県出水市)

